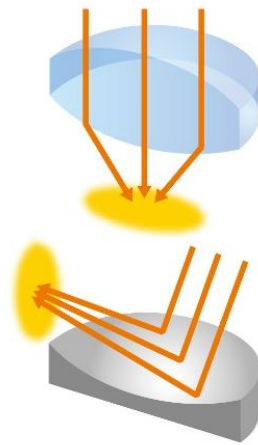


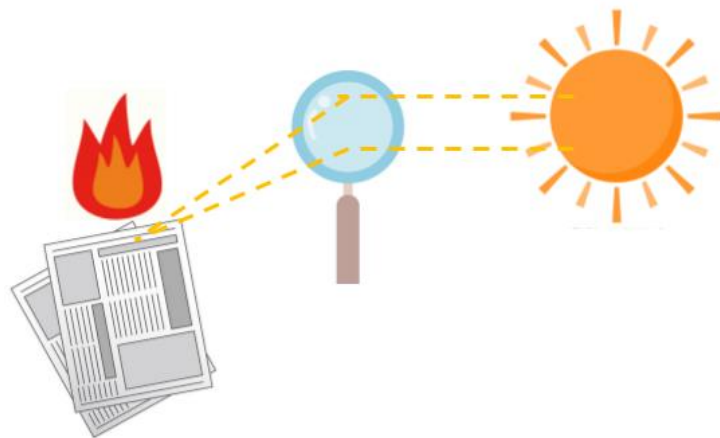
火災を防ぐ③

収れん火災とは？



【概要】

収れん火災というものをご存知でしょうか。収れんとは、凹（おう）面鏡や虫メガネ、水の入ったペットボトルなどにより、太陽の光が反射または屈折して一点に集まることを言い、光が集中した場所に可燃物があると火災に至る場合があります。当消防本部管轄内において発生事例はありませんが、全国では平成18年から平成27年の10年間で44件の収れん火災が発生しています。



収れん火災は、日差しの強い夏場に発生しやすいと言われており、さらに冬場も太陽高度が低いため、部屋の奥まで日光が届き気象条件（湿度、日射強度、日射角度、風速）がそろえば発火に至る可能性があります。

収れん火災は日常的に起こる火災ではありませんが、収れんを起こす物の向き、太陽の位置や気象条件、可燃物の位置等の条件が偶然に一致した時発生します。レンズの役割になりうる鏡や花瓶、ペットボトルを窓際に置く際には、万が一のことを考えて十分注意してください！

収れんを起こし得るものの例

- | | | |
|---------------------|----------------|-----------|
| ・凹面鏡 | ・卓上ミラー | ・虫眼鏡 |
| ・ルーペ | ・ガラス玉 | ・水晶玉 |
| ・ガラス花瓶 | ・水の入ったペットボトル | ・ステンレスボウル |
| ・ステンレスゴミ箱 | ・ウォーターサーバー用ボトル | ・鍋蓋の裏（凹面） |
| ・自動車用アルミ（メッキ処理）ホイール | | など |

お問い合わせ：赤磐市消防署 予防係 Tel: 086-955-2287